

事項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「おおぞら」の特性		
ねらい	サイレージ用トウモロコシの極早生品種について生育特性、収量性を検討したところ、「おおぞら」は既存の奨励品種に比較して収量性で優位性が認められ生育特性もほぼ同等であったことから、奨励品種として普及に移す。		
指導奨励内容	<p>1 来歴</p> <p>(独) 北海道農業研究センターで育成された単交配1代雑種(デント×フリント)である。平成14年に農林登録され、平成15年から全農が販売している。</p> <p>2 特性</p> <p>(1) 発芽及び初期生育は、標準品種「NS24A」と同等で良好である。</p> <p>(2) 耐病性では、すす紋病に対する抵抗性が標準品種よりやや劣るが、紋枯れ病に対しては優れた抵抗性を有する。</p> <p>(3) 耐倒伏性は標準品種よりやや劣るが、倒伏折損率は低い。</p> <p>(4) 絹糸抽出期は「NS24A」より3日遅いが、生育日数は標準品種とほぼ同じである。</p> <p>(5) 標準品種に比較し大型で稈長及び着雌穂高が高く、稈径は同等である。</p> <p>(6) 乾物収量は3か年とも「NS24A」を上回り、3年間の平均乾物収量では「NS24A」より17%多収である。</p> <p>(7) 雌穂重割合(乾物重)は「NS24A」よりやや低いものの、多収を示すことから、TDN収量は3年間平均で16%多い。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項	栽植本数は、8,000本/10a程度とし、他の栽培管理は県の基準に従う。		
担当	青森県農林総合研究センター畜産試験場 草地飼料部	対象地域	県下全域
発表文献等	平成17年度東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「おおぞら」の生育特性及び収量

(平成15～17年 青森農林総研畜試)

品種	年度	発芽の良否	初期生育	病害		倒伏折損 (%)	絹糸抽出期 (月/日)	刈取期 (日)	生育日数 (日)	刈取時の形質			乾物収量 (kg/10a)	TDN収量 (kg/10a)	雌穂割合 (%)
				すす紋病 (1-9)	紋枯れ病 (%)					稈長	着雌穂高	稈茎			
										(cm)					
おおぞら	15	8	6	1.0	0.3	16	8/12	10/07	153	211	93	1.5	1,313	917	53
	16	9	6	4.3	6.9	3	7/23	9/10	127	269	111	1.7	1,856	1,305	55
	17	9	5	1.0	15.1	2	8/04	9/20	132	269	110	1.6	1,791	1,259	55
	平均	9	6	2.1	7.4	7	8/02	9/22	137	250	105	1.6	1,653	1,160	54
NS24A (標準)	15	9	7	1.0	4.0	9	8/06	10/10	156	204	75	1.5	1,201	845	58
	16	9	6	1.0	5.9	3	7/22	9/09	126	213	85	1.6	1,621	1,143	56
	17	9	6	1.0	32.1	0	7/31	9/16	128	196	71	1.6	1,424	998	54
	平均	9	6	1.0	14.0	4	7/30	9/21	136	204	77	1.6	1,415	998	56

(注) 1 発芽の良否及び初期生育は9 (極良) ~1 (極不良) とする評点法による。

2 病害 (すす紋病) は被害程度1 (無) ~9 (甚) とする評点法による。

3 標準品種: 既存の奨励品種

4 TDN収量は次の推定式による。

$$\text{TDN収量 (kg/10a)} = \text{乾物茎葉重} \times 0.56 + \text{乾物雌穂重} \times 0.82$$

(耕種条件)

項目	内容
1 は種期	平成15年5月7日、平成16年5月6日、平成17年5月11日
2 栽植密度	8,081 本/10a (畦間75cm、株間16.5cm)
3 施肥量	N-P ₂ O ₅ -K ₂ O : 10-10-0 kg/10a 堆肥 4,000 kg/10a
4 除草法	は種後、除草剤による土壌処理